

## 「21 世紀環境共生型住宅のモデル整備による建設促進事業」公募要領

### 1 「21 世紀環境共生型住宅のモデル整備による建設促進事業」の概要及び目的

わが国では、家庭部門からの二酸化炭素排出量が 1990 年度比で 4 割以上増加しています（2007 年度速報値）。こうした家庭部門からの二酸化炭素排出量を中長期的に削減していくためには、建設、居住、改修、建替えのライフサイクルにわたって環境負荷が少なく、かつ快適な暮らしを実現する環境共生型住宅（以下「エコハウス」という。）を全国的に普及していくことが期待されています。

その一方で、需要側である国民、供給側である建築設計事務所・工務店等の双方において、エコハウスに対する知識、それぞれの地域や建設地の環境を生かす設計・技術等が十分に共有され、また浸透しているとは言い難い現状にあります。

これらの課題に対応するため、国の支援の下、ライフサイクル全体で環境負荷低減が可能な住宅設計手法（以下「エコハウス設計手法」という。）を活用したエコハウスのモデルハウス（以下「21 世紀環境共生型モデル住宅」という。）を全国 20 箇所程度において整備し、これを活用した住宅環境対策に関する普及活動を各地域において展開する「21 世紀環境共生型住宅のモデル整備による建設促進事業」を実施します。

これにより、現在の不動産不景気の直撃を受けている地域の工務店や造園施工者に対し、緊急の需要創出を図るだけでなく、地域の工務店や造園施工者のエコハウスに対する知識や技術を高め、これを共有することによって、地域におけるエコハウスの普及体制を強化していきます。また、住民にエコハウスのメリット等を直接体験してもらうことにより、エコハウスの需要を創出していきます。

本事業は、こうした取組を通じて、住宅環境対策に係る各種の税制改正措置等と相まって、わが国におけるエコハウスの普及をより加速させていくことを目的としています。

### 2 補助対象となる事業について

#### (1) 事業の対象者

「21 世紀環境共生型モデル住宅の整備等に関する基本方針」（別添）に基づき、21 世紀環境共生型モデル住宅の整備等を実施する地方公共団体

#### (2) 補助事業の内容

##### ア 補助対象

エコハウス設計手法を活用した 21 世紀環境共生型モデル住宅の整備事業、及び同モデル住宅を活用した住宅環境対策に関する普及活動事業

##### イ 補助率

10/10

##### ウ 補助額

上限 1 億円を基本とする。

エ 事業実施期間

平成 21 年度（単年度）

オ 補助対象経費

以下の経費のうち、本事業の実施に必要と認められるものとする。

- ・設計費（基本設計、実施設計、工事監理に要する費用）
- ・工事費（本工事費、付帯工事費、用地費及び補償費、機械器具費、測量及び試験費）
- ・事務費
- ・協議会運営費
- ・その他必要な経費で環境大臣が承認した経費

カ 募集件数

20 地域

(3) 事業の実施方法

「21 世紀環境共生型モデル住宅の整備等に関する基本方針」（別添）に定める手続きに基づいて実施するものとする。

3 申請方法

4 に定める申請書類を、平成 21 年 3 月 31 日（必着）までに、6 に定める提出先に 10 部、郵送にて提出すること。なお、申請にあたっては関係部局と十分調整の上、提出すること。

4 申請書類

- ①申請書（別紙様式）
- ②建設予定地の図面
- ③建設予定地及びその周辺の写真
- ④建設予定地周辺の土地利用等を示した地図等
- ⑤その他参考となる資料（パンフレット等、地方公共団体における特色のある取組が分かる資料）

5 採択の可否について

提出された申請書類の審査を行い、選定結果については、4 月下旬までに文書により応募者に通知（内示）する。

選定された地方公共団体は、通知後に、環境省の示すところにより、補助金交付申請を行うこと。

6 問い合わせ先・提出先

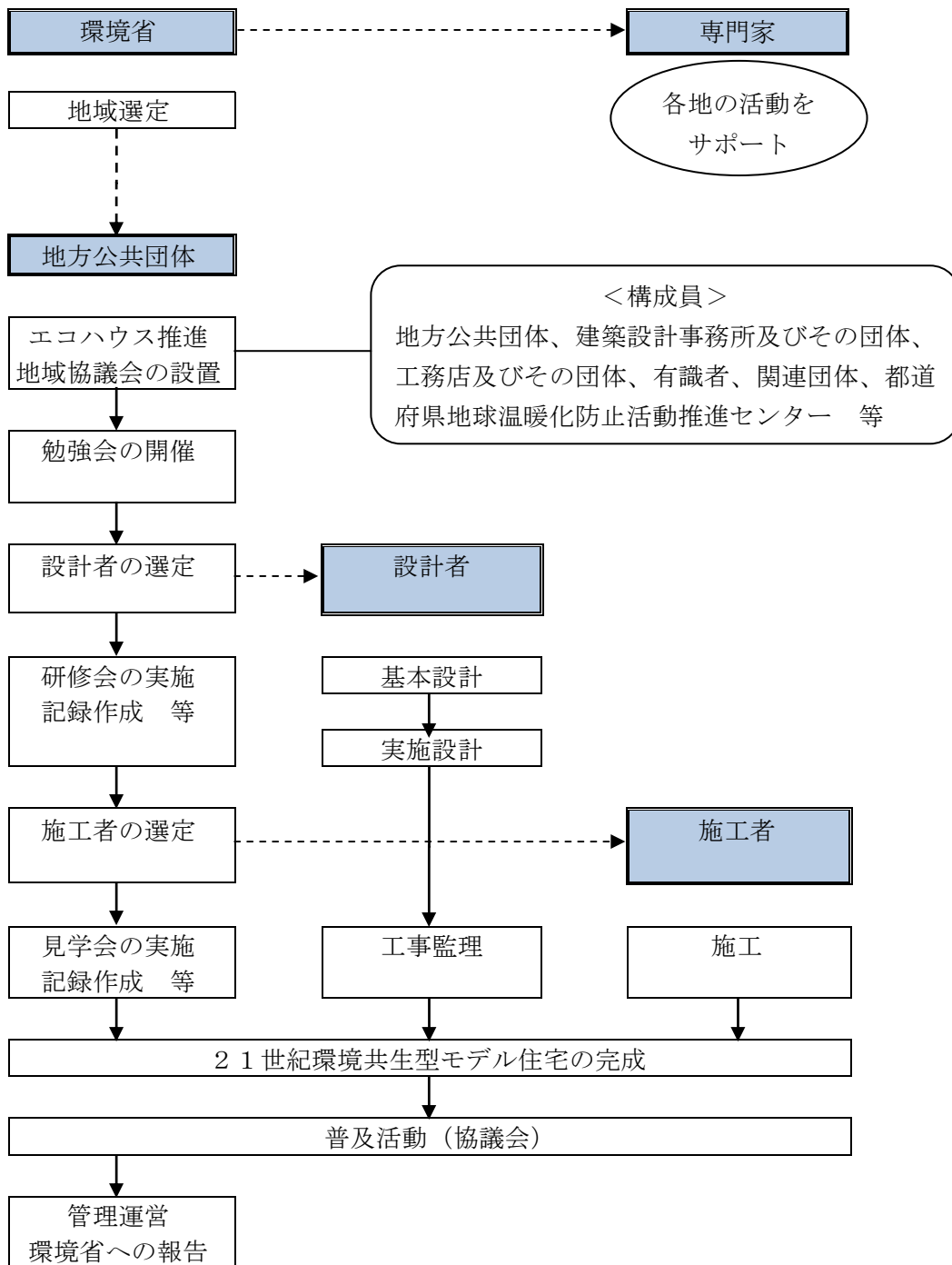
環境省総合環境政策局環境計画課

「21 世紀環境共生型住宅のモデル整備による建設促進事業」担当 長谷、加地

住所 〒100-8975 東京都千代田区霞が関 1-2-2  
 電話 03-3581-3351 (内線 6280)  
 Fax 03-3581-5951

## 7 参考

21世紀環境共生型住宅のモデル整備による建設促進事業の実施体制及び事業の流れ



## 「21世紀環境共生型住宅のモデル整備による建設促進事業」申請書

## 1. 事業主体について

地方公共団体名 \_\_\_\_\_

担当部局・課・係名	
担当者名	
住所	〒
電話番号	
FAX番号	
電子メールアドレス	

## 【地方公共団体の概況】

貴団体の位置、面積、人口、気候風土、自然条件、地域特性等について記載して下さい。

## 【地域内の住宅建築に係る需給概況】

住宅建築の供給	貴団体の地域内における民間向け住宅供給体制の現状（例えば、住宅供給公社等の公的機関、建築士事務所登録状況、登録施工者数、住宅に占める一戸建て住宅の割合等）について記載して下さい。
住宅建築の需要	貴団体の地域内における民間住宅需要の現状（例えば、過去5年程度の新設着工住宅戸数の推移等）について記載して下さい。

【地方公共団体における事業実施体制】

総合的・計画的な環境保全対策(地球温暖化対策に係る計画等)の内容及び本事業の位置づけ	貴団体において既に策定されている地球温暖化対策計画等があれば、その内容について記載して下さい。また、当該計画等の下で、本事業をどのように位置づけて推進していくのかについて記載して下さい。
エコハウス普及構想・関連施策	貴団体の地域において、どのようなエコハウスを普及させようとしているか、その構想や目標等があれば記載して下さい。また、本事業以外に、貴団体において既に実施又は実施を予定しているエコハウス普及関連施策があれば、記載して下さい。
関係部局の役割分担と連携体制	環境部局、住宅部局、商工部局等、貴団体内における本事業の関係部局間の役割分担と連携体制について、記載して下さい。

## 2. 21世紀環境共生型モデル住宅の建設予定地について

住所等	
交通アクセス	
土地面積	(㎡)
価格(実勢価格)	(百万円)
土地の現況(所有者、 状態及び権利形態)	
【貴団体に所有権が ない場合】土地確保(購 入/賃借)の見込み	
都市計画	
用途地域	
建ぺい率	
容積率	
建設予定地周辺の気 候風土(年間の気温、 湿度、風況、日射量、 降水量、降雪量等)	
建設予定地周辺の自 然資源(緑地、水辺等 )	
建設予定地周辺の土 地利用環境の特徴(住 宅地、市街地、農業地 その他の特徴)	

### 3. 21世紀環境共生型モデル住宅の整備等の構想について

以下の内容は、現時点での想定・試算が可能な範囲で記載して下さい。

建物概要・規模	
面積	(㎡)
予算	(百万円)
モデル住宅の構想	どのような21世紀環境共生型モデル住宅をどのように整備するのか、その基本的な考え方について記載して下さい。
管理・運営等	21世紀環境共生型モデル住宅の整備後に、貴団体が実施する予定のモデル住宅を活用した広報活動や、その継続的な管理・運営の計画や見通しについて、記載して下さい。

#### 4. エコハウス推進地域協議会を中心とした普及活動の構想について

エコハウス推進地域協議会の構成メンバー（見込み段階でも可）	
普及活動の具体策（スケジュール、各構成メンバーの役割分担を含む）	